

再生可能 エネルギーの 取り組みは

口田邦男議員

本町において、メガソーラーの企業による施設の設置が決定しているようだが、その進捗状況は。

過去に、バイオガスパラントの実験プラントを動かした経緯があるが、現在取り組みがない理由は何か。また、農業用水を利用した発電を考えたことはないのか。

再生可能エネルギーの取り組みについての考えを伺う。

高薄町長

メガソーラーについては、今後、民間企業による事業着手が始まる予定となっている。

バイオガスパラントは、平成13年度から5年間、実証実験を行ったが、初期投資やメンテナンスなどに多額の費用がかかるという理由などから、平成18年

度に実験を終了した経緯がある。しかし、昨年から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まったことにより、バイオガスパラントが再生可能エネルギーとして有効活用できるといふ面から、現在、常広市を中心とする十勝バイオマス産業都市構想へ参加をするため、準備を進めている。

営農用水を利用した水力発電については、本町の可能性の有無を調査するため、国の補助事業に申請している。

中学生以下の 医療費 完全無料化の 見通しは

木村好孝議員

町長が選挙公約で掲げた「10歳から中学3年生までの医療費完全無料化」について、町政執行方針で公約に掲げた政策予算は「4月または6月議会までに提案する」としているが、



子どもの医療費無料化は、子育て世帯への支援となる施策

次の3点について伺う。

- ① 完全無料化の内容は。
- ② 予算提案とのかわりがあるが、実施時期の見通しはいつか。
- ③ 無料化にともなう国からのペナルティの見解は。

高薄町長

- ① 一般的な治療及び歯科診療の通院費、入院医療費について、中学3年生まで全額を助成する。
- ② 実施には、医療機関等との協議が必要のため、今年10月をめどに開始したいと考えている。予算については、対象者が60人程度と推測しており、試算すると約1800万円程度が必

要となる。

- ③ 医療費無料化を実施することに對して、国からのペナルティは約300万円程度と予想している。

就学援助への 対応は

木村好孝議員

就学援助を受ける、小・中学生が17万人(全体の15・6%)と約6人に1人の認定で過去最多となっており、本町においても今年度は全体の15・8%と増加している。次の2点につ

いて伺う。

- ① 「生活保護基準引き下げ」の影響を考えると、認定基準の切り上げや給付内容の検討が必要になるが、見通しを伺う。
- ② 制度の改善及び充実のうえからも、進歩保護世帯への国庫補助の復活をはじめ、国への強い要望を行うべきであるが、考えは。

三澤教育委員長

- ① 国では、生活扶助基準の見直しにともない、児童生徒の教育を受ける機会が妨げられることがないよう、平成25年度当初に標準を保護世帯として就学支援を受けていた児童生徒は、基準の見直し以降も引き続き国の補助対象とすることにしている。

町としても、児童生徒に影響が及ばないよう支援していく。来年度以降については、国の動向や管内の状況を把握しながら、支援を検討していきたい。

- ② 就学支援事業などにかける国庫補助の復活や増額、地方交付税の引き上げ

など、地方財政措置の充実を図るよう全国市町村教育委員会連合会を通じて、国へ要望していく。

町長選挙 4選後の 透明性のある 開かれた町政とは

原 紀夫議員

- ① 前回の町長選以上の多くの公約を掲げているが、現下の厳しい財政下で財源の裏づけをどのように考えているのか。

事務事業の大幅な見直しを行い、必要事業を精査すべきと考えるがどうか。

- ② 抑制を続けてきた建設事業等を増やす政策を打ち出しているようだが、管内でも下位にある財政下にあり、各種比率は改善してきてはいるが、予断を許さない状況には変わりない。町民目線で厳選して判断すべきである。

小学校改修や公営住宅建設以外ではどのような事業を考えているか。